

Problem !
高額な機器

Problem !
大人数で演習

Problem !
健康な方で演習



背景

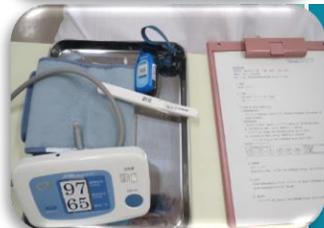
- ・ 高度化かつ複雑化する医療に対応し得る実践能力を有する人材の育成が求められている。
- ・ 世界的にもシミュレーション教育が重要視され、実施されている。

問題点

- ・ 患者のバイタルサインズ（生命兆候）を再現できるシミュレータは数百万～千万円の高価な機器である。
- ・ 模擬患者や学生同士の演習では、健康者対象であるため異常値は再現不可能である。

解決策

- ・ 生体情報などの測定機器に、意図的に異常値や正常値を表示させるためのシステムを組み込む。
- ・ 模擬患者（健康な人間）を測定しても、病気を再現する異常な値を表示できる。



Contact us

研究・地域連携室 上席産学公連携コーディネーター

上野山英克 (うえのやま ひでかつ)

E-mai : uenoyama@ipu-office.iwate-pu.ac.jp

TEL 019-694-3330 FAX 019-694-3331

看護学部基礎看護学講座 准教授

三浦奈都子 (みうら なつこ)

E-mai : natsuko@iwate-pu.ac.jp



公立大学法人

岩手県立大学

Iwate Prefectural University

患者の変化に対応する実践能力を身につける —医療シミュレーション教育デバイス—

医療者の**実践能力向上**

リアルな状況で
安心して何度も学習
することができる

医療の質向上
患者の安全

Hybrid

開発したデバイスを人間（模擬患者）に活用
低機能シミュレータにも活用可能

Simulation System

模擬患者の呼吸に同期し異常な呼吸音を聴取できる。
模擬患者または低機能シミュレータで異常値を再現できる。



- 特許第7053134号：測定技術訓練装置、測定技術訓練システム、および測定技術訓練方法
- 特許第6961198号：トレーニング装置
- 特許第6661110号：聴診システム



公立大学法人
岩手県立大学
Iwate Prefectural University